

③色認識アプリを活用した事例

図2-2-7は色を認識して音声で知らせてくれる、言わば視覚障害者用に開発されたアプリケーションであるカラーセイ（COLORSAY）である。

カラーセイは文字通り物体の表面の色を音声で読み上げてくれるアプリケーションであるが、参観した授業では、水溶液の酸-アルカリを調べる実験で用いられていた。



図2-2-7 色認識アプリ「カラーセイ」

図2-2-8 水溶液をセットする生徒

具体的には、ある溶液に BTB 溶液を加えながら色の変化を見ていき、最終的に何色になったかによって、その溶液が酸性かアルカリ性を判定するという実験であった。

図2-2-8は全盲の生徒が黄色に変化した水溶液をカラーセイで認識させるためにビーカーをセットしている様子である。図に示したように補助的な装置を用いる事によって、全盲の生徒でも酸-アルカリの実験を行うことが可能となっている。

※ 本事例（特別支援教育教材ポータルサイト掲載事例）は、独立行政法人国立特別支援教育総合研究所「B-291 特別支援学校（視覚障害）における教材・教具の活用及び情報の共有化に関する研究—ICTの役割を重視しながら—」（平成26年3月）、107-108に記載された内容である。